



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

南中だより 1月号

羽生市立南中学校

令和6年 1月 9日発行

「適当にしない」「品格」～第3学期始業式式辞より～

校長 橋本 良典

元旦から、大地震、津波、原発の安全性、飛行機衝突等、目を疑うような出来事があり、不安な年明けとなってしまいました。被災された方々、救助や復興のために尽力されている方々には、お悔やみとお見舞いを申し上げます。何よりも尊いのちを失われた方には、何て申し上げたらよいか……。一步一步進んでいただけることを願うばかりです。そして、自分に何ができるのか、冷静に受けとめ行動したいと考えます。

さて、始業式式辞では、2つのことについて、生徒へ言及しました。

一つ目は、「勝った、負けた、を適当にしない。」「できた、できなかった、を適当にしない。」ということです。負けた時、できなかった時、適当にしない。ことです。何が足りなかったのか？甘かったのか？油断していたのか？そして、悔しさを決して忘れてはいけません。「悔しさ」が、人間に熱をあたえ、やる気を出させます。

また、あいさつ、時間を守る、身のまわりの整理整頓、清掃なども、できなかった自分、そんなのやらなくてもいいと、適当にとらえている、自分がいたなら、いい加減にしないでください。細かいことですが、こうしたいい加減にしない行いが中学生の成長段階では、将来の生き方や人間性を豊かにしてくれると考えます。

二つ目は、中学生として品格を重んじて欲しいと言うことです。人に対して、人として、中学生として品格がありますか？重んじていますか？「品格」といっても難しいです。「品格」とは、どんなことでしょうか？まずは、身だしなみですか？そして、言動？そして、知識？それとも、自分や他人に対する尊厳？ここで大切な考え方は、自分が人に向き合うのに、相手に失礼の無い身だしなみ、言動が出来ているか？そして、集団や相手を尊重して、大切に重んじているか？ということです。季節的に寒くて厳しい時期ですが、だからこそ「品格」について意識し、お互いに崇高な生活や言動をしていきましょう。

新年、良い年になることと、第3学期は、年度のまとめの学期となるように一日一日を前向きに過ごしていきましょう。保護者・地域の皆さま、関係の皆さまにおかれましては、引き続き、御理解、御協力、御支援を賜りますようお願いいたします。

第3学期始業式～代表生徒の抱負～

1月9日（火）、3学期始業式が行われました。各学年の代表生徒の抱負に一人一人が思いを重ね、3学期の成長を決意したことと思います。

【1年生】（ ）

「成長できる学期にするために、自分達で課題を改善する力をつけます。」

【2年生】（ ）

「学校全体を引っ張っていく自覚をもち、準備期間として充実させていきます。」

【3年生】（ ）

「笑顔で3月15日の卒業式を迎えるために、学年全体で受験を乗り越えます。」



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	月	元旦 冬季休業日（1月8日まで）	16	火	
2	火		17	水	登校指導日
3	水				7時間授業（3年1,2,3組）
4	木	月例費引き落とし	18	木	5時間授業
5	金		19	金	7時間授業（3年2,3組）
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月	成人の日	22	月	
9	火	始業式（部活動中止）	23	火	
10	水	特別日課（4時間）	24	水	7時間授業（3年1,2,3組）
		スキー学校（1年）	25	木	5時間授業
11	木	給食・清掃開始 5時間授業	26	金	7時間授業（3年2,3組）
		スキー学校（1年）	27	土	
12	金	スキー学校（1年）	28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	
15	月	生徒会専門委員会	31	水	7時間授業（3年1,2,3組）

自己啓発の日：12日、16日、24日、29日

下校指導：12、24日

※校庭の貯留地工事で駐車場が確保できないため、スキー学校の集合・出発はカインズ、到着・解散は羽生市産業文化ホールになります。